

ぬくもり

CONTENTS

記念式典・祝賀会	2
宇佐高田医師会病院の歩み	3
ドクターのお話	4
供養盆踊り	5
リレーフォーライフ大分	5
レシピひと工夫	6
ご意見いただきました	6
部署だより	7
行事のお知らせ	7
医事課よりお知らせ	7
パワースポットのご案内	7
外来担当医師一覧表	8

基本理念

地域医療への貢献

「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

- 一、救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

宇佐高田医師会病院

肌のぬくもりある医療

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



私達は笑顔を大切にします



宇佐高田医師会病院創立30周年
宇佐高田地域成人病検診センター創立20周年を迎え

『肌のぬくもりある医療』の実践のもとさらなる地域医療への貢献をめざします



宇佐高田医師会病院創立30周年・宇佐高田地域成人病検診センター創立20周年

記念式典・祝賀会

[平成23年10月10日(月・祝) 満天閣にて]



記念式典

一、開会の言葉

一、理事長挨拶

中野 眼一 (宇佐胃腸病院院長)

一、病院長挨拶

柏木 孝仁

一、来賓祝辞

大分県知事 広瀬 勝貞氏 (代読)

宇佐市長 是永 修治氏

豊後高田市長 永松 博文氏

大分県医師会長 嶋津 義久氏

一、功労者表彰

(対象者7名)

一、謝辞

一、永年表彰

(対象者33名)

創立30周年を迎えて (記念誌ごあいさつより抜粋)

昭和56年4月に設立された宇佐高田医師会病院は、お蔭様にて創立30周年を迎えることができました。これを機に過去の実績を緋き、将来の地域医療の活性化を図る足掛りとすべき記念誌を発行することとなりました。

顧みますと当地域には中核病院がなく、地域医療の向上と救急医療体制の確立を目指し、初代院長 桐田公弘医師会長を中心に志ある会員諸氏により東奔西走し、苦労を重ねて設立されたと聞いております。また、当時の西高医師会 道野宏太郎会長以下会員諸氏の御支援があり、以後30年に亘り、両医師会の強い絆のもと医師会病院の運営がなされているのであります。新卒後医師研修制度の崩りで医師不足のなか、医師を派遣していただいている九州大学、長崎大学、大分大学の各関連教室、並びに僻地医療、二次救急医療機関に対する補助金予算化に労を惜しまない国、県、市の各行政機関に対し、茲に心から感謝申し上げたいと存じます。この様に多方面の温かいご支援により、30年間、宇佐高田地域の中核病院としてそ



宇佐市医師会会長
宇佐高田医師会病院理事長
中野 眼一

の機能を果してまいりましたが、まだ十分とは申せません。

初代 桐田公弘院長の医療の理念は、ややもすると権威主義的な医療になり易いことを戒め、「肌のぬくもりある医療」を掲げられました。この精神は現代に至るまで各職員に受継がれています。

平成12年から病院長制がとられ、初代 中島仁典院長が就任され、病院の機能面の充実化に大きな功績を残されました。一方、予防医学の重要性が論じられる時代となった平成2年には宇佐高田地域成人病検診センターが併設され、本年創立20周年を迎えました。生活習慣病の早期発見に多大な貢献がなされており、地域住民に高く評価されています。しかし乍ら、地域医療は年々厳しい状況下にあります。医師会病院の今後に課せられた課題は山積しており、特に、老朽化した病院の改築をいかに実施していくかが重要課題として残されています。

本年、未曾有の東日本大震災に直面した我が国にとって地域医療の重要性を掲げる機運が益々高まることが推測されます。私共は今後も医療の真の理念に基づき、地域医療のため貢献していく所存であります。どうか会員の皆様には現状を御理解いただき、今後とも御支援、御鞭撻のほど心からお願い申し上げます。



功労者表彰



永年表彰

●記念式典につづき祝賀会が開かれました。



祝賀会会場



Dr.ZUMAマジックショー



藤間流祝演舞



三宅夫妻による演奏

宇佐高田医師会病院の歩み

昭和56年	4月	宇佐郡市医師会病院として開院 (内科、外科、理学診療科100床)
		第2次救急病院として指定
		僻地医療拠点病院として指定
昭和57年	1月	開放型病院として指定
	4月	宇佐高田医師会病院に改称
昭和58年	6月	106床へ増床
平成2年	4月	成人病検診センター開設
平成3年	4月	創立10周年
平成7年	7月	訪問看護ステーション設立
平成8年	5月	災害拠点病院として指定
平成9年	6月	心血管造影室稼動
平成13年	4月	創立20周年 感染症病棟4床増床し、110床へ増床

平成14年	6月	消化器内視鏡検査の開始
平成17年	1月	医療連携室発足
	6月	病院広報誌「ぬくもり」創刊号発行
平成18年	2月	心臓カテーテル検査用血管造影室増設
	11月	訪問看護ステーション廃止
平成19年	12月	電子カルテ稼動
平成20年	2月	大分DMAT指定病院として指定
	3月	マンモグラフィ検診施設として認定
平成21年	7月	診療群分類包括評価(DPC)対象病院として認定
	10月	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver.5に合格認定
平成22年	4月	NST稼働施設として認定
平成23年	5月	地域医療支援病院として指定

ヘリコバクター ピロリ感染症

消化器内科部長 井上 邦光



現在日本では胃癌による死亡者数は減少傾向ですが、いまだに日本人には多い癌の一つです。死亡者数の減少の背景には検診などにより胃癌が早期で見つかったことが多かったことがあり、早期発見、早期治療は重要ですが、それに加え、最近ではピロリ菌の除菌による発癌予防が注目されています。

●ピロリ菌と胃・十二指腸潰瘍、胃癌との関係

ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）は1982年に発見された胃に住む病原体で、胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍の原因であることがわかりました。またピロリ菌が胃癌の発症と深くかかわっていることが知られるようになり、特に早期胃癌を内視鏡にて切除された方でピロリ菌の除菌を行ったところ、除菌を行わなかった方と比較して、その後の経過で胃の別の箇所に癌が再発する確率が減少したことが報告され、昨年より胃癌の再発予防目的での除菌が行われるようになりました。

●ピロリ菌の検査法

内視鏡を用いた検査法：胃カメラを行い採取した胃の粘膜を用いて検査を行います。

①組織検査、②培養検査、③迅速ウレアーゼ検査

内視鏡を用いない検査法：血液、尿などを用いて検査を行います。

④血液・尿中ピロリ抗体測定、⑤尿素呼気試験、⑥便中ピロリ抗原

これらの検査法のうちいくつかの検査を組み合わせることで精度が上がります。



●除菌療法

現在では表にあげるような病気がピロリ菌の感染と関係があると考えられております。除菌には2種類の抗生剤と胃酸の分泌を抑える薬（プロトンポンプインヒビター）を1週間服用します。これにより約80～90%の確率で除菌できます。除菌できなかった場合は二次除菌といって、抗生剤の種類を変えてもう一度除菌を行います。これによってほぼ90%以上の方が除菌できます。最近抗生物質に抵抗性のある菌が増えており、二次除菌にても菌が消えない場合があります。このような方には三次除菌が必要です（保険外）。また慢性胃炎のみの場合では現在保険適応ではなく、大学病院などでのピロリ専門医による診療が行われておりますので希望の方は紹介いたします。

ピロリ菌の感染率は10歳、20歳代では15%、20%ですが、40歳代で48%、50歳以上では60%台と中高年者で高いです。ピロリ菌の検査は当院で行っておりますので、希望の方は消化器外来にて御相談ください。

ピロリ菌と関係があると考えられている疾患（◎は保険適応となっている疾患）

- ① 胃潰瘍、十二指腸潰瘍 ◎
- ② 胃MALTリンパ腫 ◎
- ③ 特発性血小板減少性紫斑病 ◎
- ④ 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜切除術後 ◎
- ⑤ 萎縮性胃炎
- ⑥ 胃過形成性ポリープ
- ⑦ 機能性ディスペプシア
- ⑧ その他 逆流性食道炎、鉄欠乏性貧血、慢性蕁麻疹など

注：胃癌に対しては除菌による予防効果はありますが、すでにできた癌が除菌で治癒することはありません。



ヘリコバクター・ピロリ

盛大な供養盆踊りが できました

8月27日（土）本年は場所を検診センター前駐車場へ移し、当院親睦会主催の供養盆踊りを開催致しました。

今年は病院創立30周年・検診センター創立20周年の節目の年にあたり、地域住民との交流を深めるという大きな目的もありました。そこで職員は事前に伏田地区、宇佐中央地区の皆様にご指導いただき、踊りの練習をしました。

当日は天候にも恵まれ、同地区の皆様には午前中から準備を手伝っていただきました。そして午後7時より中野理事長、柏木院長から物故者・遺族の方々へ追悼の意が表され、供養盆踊りが始まりました。理事長、院長を始め多くの職員が浴衣姿で、練習の効果もあり例年にも増し大きな2重の踊りの輪でした。提灯を増やした会場に、やぐらの上の口説きも良く響いて、盛況のうちに無事終了することができました。地域の皆様にも多くのご参加を頂き、大変良い供養を行うことができましたことを感謝申し上げます。

来年以降も皆様方の多数のご参加・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。伏田・日足・宇佐中央の各地区の皆様、本当にありがとうございました。



親睦会会長
渡邊 善伸



リレーフォーライフ大分 2011に参加しました

9月23・24日にがん患者を支援するチャリティイベント「リレーフォーライフ大分」が大分スポーツ公園で開催されました。24時間、リレー形式でたすきをつなぎ、がん撲滅を願って歩き続けるイベントです。当院からはのべ50余名が参加しました。



参加者の感想

今回初めてリレーフォーライフに参加させて頂きました。家族や知人・友人など、それぞれの人が癌患者さんに思いを寄せた灯籠の中をみんなで協力しリレーのたすきをつなぎました。癌患者さんを身近にもつ人の思いを知り、その中を歩く事で自分には何ができるのか、また癌について改めて考えさせられました。

とても貴重な経験ができた1日でした。

4階病棟看護師 梅本ひろみ

2歳と4歳の子供と一緒に今回初参加させて頂きました。

子供が疲れてしまい、沢山は歩けませんでした。上の子供もは、一緒に参加した職員のお孫さんとすぐ仲良くなって、風船つりをして遊ばせてもらったり、下の子供もは、がん征圧の願いをこめて作られた灯籠に自分の好きなアンパンマンのイラストを見つけては喜び、二人とも楽しい時間をすごしました。

今はまだ、リレーに参加する本当の意味は分からない子供たちですが、大きくなって、がん患者さんを支援する気持ちを自然とってくれればと思っています。

事務部医事課 長野紘子

ししぴ ひてエホ

番外編

病院給食ができるまで

栄養課
日清医療食品㈱チーフ栄養士
渡辺 恵



衛生第一をモットーに取り組んでいます

給食は食材の納品、下処理、加熱処理、配膳チェックの工程を経て患者様のもとへと運ばれます。安全で美味しい給食を 365 日欠かさず提供する為に、衛生第一に取り組んでいます。

ある日の朝食ができるまでをご紹介します

- 6時00分 ユニフォーム、マスク、帽子の着用
(帽子の下にはもう一つ簡易帽子をつけています)
ローラーがけ(髪の毛がついていないか入念に！)
手洗い
- ↓
- 6時10分 水道水塩素チェック
- ↓
- 6時15分 新しく封をあけた食品は開封日を記録
- ↓
- 6時25分 牛乳をトレーにのせます、賞味期限の確認も
- ↓
- 6時30分 加熱した食材の味見、温度管理
- ↓
- 6時50分 刻み食を作ります
(直接患者様の口に入るものは手袋着用します)
- ↓
- 7時10分 粥、御飯、味噌汁をつぎ始めます
- ↓
- 7時40分 最後に配膳チェック、異常がないか確認後病棟へ



ローラー
がけ



温度測定



ごはん
つぎ

味付けは濃くないかな？
美味しいかな？
温度は79度以上あるかな？

この他の工程にもさまざまなことがマニュアル化されており、マニュアルどおりに作業が進められています。病気になり免疫機能の低下している患者様が多い病院では、特に食中毒に気をつける必要がありますので、衛生管理はとても重要です。

ご意見いただきました

ご意見ありがとうございました。
文責 院長 柏木 孝仁

▼ご意見①

外来化学療法室にTVを設置していただけないでしょうか。
私は治療のため、点滴を受けておりますが、5時間程要し、睡眠や読書で時を過ごしますが、どうしても無駄な時間が生じます。そのような時、適切な音量でTVを楽しむことができればありがたいと思います。どうかご配慮のほどお願いいたします。

▼お答え①

貴重なご意見ありがとうございました。早速このご意見を受けて、9月末にTVを2台設置しました。(写真下)これにより、少しでも、点滴の時間を有意義にお過ごしいただければと思います。



可動式テレビ

可動式テレビ

外来化学療法室

▼ご意見②

身障者用の駐車場所に健常者の方がよく停めているので、私たち身障者は遠くから歩かねばならなくて困ります。注意してほしいのですが・・・。

▼お答え②

障害者優先駐車場が2か所と十分なスペースがとれず、また、利用方法についても徹底することが難しく、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。ご来院される皆様のご協力をいただけるよう呼びかけていきたいと思います。

▼ご意見③

先日他界しました患者の長女です。
先生を始めとして、看護師の方々の手厚い看護には感謝の気持ちでいっぱいです。先生はこちらの気持ちを十分くみ取って下さり、父も大好きだった先生に看取って頂き、幸せだったと思います。父が他の病院に行きたがらなかったのがうなずけます。
先生、父に携わって下さった看護師の皆様、本当に長い間ありがとうございました。

▼お答え③

ありがとうございます。これからも患者様の立場に立ったより良い病院を目指して、職員一同がんばっていききたいと思っています。

*ご意見は、要約して掲載させて頂いております。ご了承ください。

部署だより③

4階病棟

4階病棟は、循環器・呼吸器の内科混合病棟で、平成9年に心臓カテーテル検査が導入されて以来、県北地域の循環器の救急医療を担ってきました。ここ2年間、循環器の医師が1名となり、他院へ緊急搬送するなど地域の中核病院としての機能を少し果たせず悔しい思いをしています。しかし、循環器の緊急入院はやや減少したものの他科の急性期・慢性期の患者様の入・退院は変わらず、幅広い看護を提供できるよう努めています。スタッフは看護師24名、勤労看護学生3名、パート



4階病棟 看護課長
山田伊智子



ト看護師2名、看護助手5名、総数34名の美人で、個性派、気は優しくて力持ち揃い！忙しい病棟ですが、メンバーが声を掛け合いチームワークで頑張っています。患者様が元気で退院する姿や笑顔に励まされる毎日です。

今後も、地域の皆様のニーズにこたえられ、安全で質の高い看護を提供できるようにスタッフとともども日々の自己研鑽と更なるチームワーク作りに努めていきたいと思ひます。お気づきの点がございましたら、お声掛け下さいます様お願いいたします。

行事のお知らせ

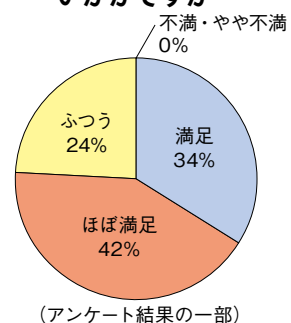
平成23年11月14日(月)～20日(日)は全国糖尿病週間です。当院では期間中、管理栄養士による栄養指導を予定しています。お気軽にご相談下さい。



医事課よりお知らせ

平成23年7月4日から7月12日まで、146人の外来患者様にご協力いただき、患者様満足度調査を行いました。皆様の貴重なご意見をこれからの病院運営に生かして行きたいと思ひます。お忙しい中、こころよくアンケートにご協力いただきました患者様・ご家族の皆様、本当にありがとうございました。尚、詳しいアンケート結果は11月中旬まで受付前掲示板に掲示いたします。

当院の全体の感想はいかがですか

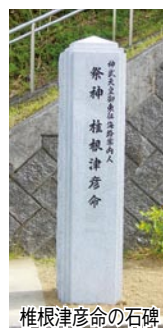


パワースポットのご案内

検診センターの裏に椎根津彦神社という宇佐神宮末社があります。今年8月に朱塗りの柵囲いと案内板が造られました。10月には石碑も建てられ、病院内ではパワースポットとして一躍脚光を浴びています。お時間があれば皆様もぜひ一度お参りしてみませんか。

椎根津彦神社御由緒 (案内板より)

- 一、祭 神 椎根津彦命
- 一、鎮座地 宇佐市大字南宇佐字椎ノ宮650番地
- 一、御神徳 開運招福 交通安全 海上安全 無病息災
- 一、由 緒 椎ノ宮神社ともいわれ、「日本書紀」によれば紀元前667年10月5日神武天皇が御年45歳の時御東征を決意され、日向を出発し潮流の激しい豊予海峡の速吸門まできたときに、国つ神の漁師珍彦が現れ、神武天皇に水先案内を申し出た。天皇は椎の棹を珍彦に授けて無事に難所を渡ることができたので、椎根津彦の姓を授けた。天皇一行はこの椎宮神社付近に上陸したと伝えられ、後にこの地に椎根津彦を祀った。(以下省略)



椎根津彦命の石碑



椎根津彦神社

外来担当医師一覧表

時間帯	科 別	月	火	水	木	金	土
午 前	循 環 器	陣林 伯男	篠原 徹二	陣林 伯男 (ペースメーカー) 齋藤 聖多郎	米持 英俊	陣林 伯男	—
	外 科	蔵田 伸明	柏木 孝仁	村上 光彦	萱島 理	柏木 孝仁	—
	消 化 器	井上 邦光	中島 仁典	梶本 展明	中島 仁典	井上 邦光	中島 仁典 (再 来)
	内 視 鏡	梶本 展明	井上 邦光	井上 邦光	梶本 展明	梶本 展明	—
	呼 吸 器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午 後	循 環 器	—	—	—	近藤 克洋 (心カテ検査)	—	—
	呼 吸 器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	腎 臓 内 科	—	—	—	—	有馬 誠 第1・第3	—
	血 液 内 科	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏 名	専 門 領 域
陣林 伯男	循環器 内科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
米持 英俊(非常勤)	循環器 内科一般
齋藤聖多郎(非常勤)	循環器 内科一般
井上 邦光	消化器 肝臓病 内科一般
梶本 展明	消化器 肝臓病 内科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般
有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般

氏 名	専 門 領 域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
萱島 理	消化器外科 外科一般
三重野 斉	呼吸器科一般
黒田 芳信(非常勤)	呼吸器科一般

●診療時間 午前9:00～12:00
午後1:00～4:00(腎臓内科)
午後2:00～5:00(呼吸器・血液内科)

●ご案内図



患者様と医療者のパートナーシップ方針

宇佐高田医師会病院では、地域の中核病院として、地域医療に貢献し、医療水準の向上に努めるとともに、心のこもった安心できる医療体制の構築、即ち「肌のぬくもりある医療」の実践を基本理念としています。また患者様との信頼関係を高めるため、患者様と医療者のパートナーシップの確立を重要な事柄とし、患者さま参加型医療の確立に取り組んでいます。

患者様の権利

- ・ご自身の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
- ・医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択または断ることができます。
- ・主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオン制度を利用することができます。
- ・ご自身の診療に関する記録などの情報に関して、開示を求めることができます。
- ・個人情報やプライバシーは保護されています。
- ・病院に対し種々の提言をすることができ、医療や看護行為について相談することができます。

患者様へお願い

- ・ご自身の健康状態や変化は、速やかにそして正確に医療者にお伝えください。
- ・検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上で受けてください。書類に署名をさせていただきます。
- ・納得できないことや、理解しづらいことは遠慮せずにご質問ください。
- ・メモは遠慮なく取ってください。
- ・安全確保のためいろいろな場面で患者様ご本人の確認をさせていただきます。
- ・薬剤の確認など、自らの医療に積極的に参加してください。
- ・病院の快適な医療環境の維持にご協力ください。

宇佐高田医師会病院 病院長

ぬくもり No.25 2011年10月25日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。

編集後記

おかげさまで病院創立30周年を迎えることができ、本号では医師会病院のこれまでの歩みを掲載しています。

時代の流れと共に医療情勢も厳しくなっていますが、今こそ原点に立ち返り「肌のぬくもりある医療」の精神を引き継いでいかなければならないと思っています。

広報委員